

「希望の車いす」との出会い

「車椅子をアジアなどの国々の子どもたちや障害者の人たちに贈る活動をしているメリー・ベナーさんという人が、もっと教師さんたちにもその活動に加わってもらいたいので関心のある方たちにお会いしてお話ししたい、と言っているんだけど、あなたの名前を紹介しても良いですか？」昨年の夏の英語のキャンプでお手伝いをさせていただいたデラクワア牧師からこのような電話をもらったのが最初のきっかけです。

車椅子は二年前に天に召された私の妻、米子が私と旅行に出かけた時などにいつも利用していたので、私たちにとっても大事なパートナーでした。この車椅子を使いたくても手に入れることができない、海外の多くの人たちに贈る活動を続けているベナーさんとはどのような人だろう。私はぜひ彼女にお会いしてもっと詳しくお話しを聞いてみたくなりました。

約束の日、東久留米市にある小さな事務所に行くと、ベナー夫人がこぼれるような笑顔と歓迎の言葉で迎えて下さり、少しお話しをするうちに、私はこれがただならぬ出会いであることに気がつきました。まず最初の驚きは、メリーさんが「私の父をご存知ですか？ビル・バウムといいます」と言われたことです。約50年ほど前に、宇都宮市で伝道しておられたバウム先生の所で、伝道チームのスタッフとして2ヶ月ほど寝起きを共にした間柄だったからです。私はこれら一連の動きの背後に、目に見えない神のみ手を感じないではいられません。

いま私は、海外で車椅子を必要としている多くの人々や子どもたちに生活の質の向上と新たな希望を与えるこの活動に参加できることを、心から嬉しく思っています。

副理事長
アキコ
田原 昭徳



車椅子贈りにも個性が出ます。少し手を休め、隣の作業を見るのも楽しい！



車椅子を贈るのは初めて、上手にきれいに贈れるかな？と思いつながらやってみるともう止まらない。ピカピカに磨きたくなって！ 車椅子贈りの名人になった気分でした！！

(東京 ローア パプテスト教会の皆様)

モンゴルに届いた113台

一ヶ月に250台の車椅子を送って貰えるだろうか、という要請をモンゴルで働く知人の医師から聞いた時は「こんな過大な要求にどう対応すべきか」と思いました。小児の口蓋裂形成手術を専門にする医師から、病院には車いすが皆無なので、手術室から病室まで子どもを抱きかかえて移動している言う話を聞き、事態の深刻さを痛感しました。

113台の車いすを、モンゴル行き全长6メートルのコンテナに積み終えた瞬間、「希望の車いす」の働きに関してからこれまで最高の爽快な気持ちになりました。今回寄贈した車椅子は、すべて寄付されたもので、主に埼玉県のスレッドメディカルサービス様から譲り

受けました。ボランティアが廃棄される車いすをトラックで取りに行き、クリーニングと整備をし、ビニール袋に梱包しました。小型の空気入れのポンプを格安に購入して両対しました。コンテナの扉を開けたときの喜びはたどえようありません。

このような贈り物を受け取った方の気持ちはどうだったでしょうか？ 贈り物を準備するときの気持ちほどこんなに嬉しいものでしょう。クリーニングデーは、ほとんど修理を必要せず、拭いてきれいになればよいだけの車椅子も中にはありますので、どなたでも気軽に仕事が出来ます。「こんな過大な要求にどう対応すべきか」でしょうか？ まず、参加してみることで、皆さんのご協力をお願いいたします。

インターナショナル・チャペル・オブ・サイタマ
牧師 (正会員)
スタンレー・デラクワア



* 希望の車いすのホームページを
ご覧下さい。
www.st-creation.com/chair/

* 「希望の車いす」をNPO法人として認定を受けるために現在準備中です。願望に行けば今夏には正式に発足できる見込みです。

* 車いすの行き先
3月 5日 ナイジェリア 1台
3月 13日 カンボジア 9台
3月 20日 モンゴル 113台
4月 6日 タイ 1台
5月 13日 ミャンマー 2台

ナイジェリア在住のフェバー君は日本の大学に留学中の親父さんが寄贈した際に車椅子を受け取りました。



タイに車いすを届けた感想

2006年の夏、私はタイで10日間過ごしました。それは人生を変えるような素晴らしい経験となりました。想像を超えた貧困を目の当たりにすることは予想していませんでした。毎日、本来ならば車いすに乗っているべき方々と会いました。両足のない方が、歩道を歩きつつ、日常の仕事をこなしている様子を見ました。1ヶ月の平均収入が2500円という、このような方々の生活は想像に余りあるものです。私が慣れている生活水準との差にショックを受けたのは確かですが、さらに驚いたのはこの方々に笑顔があるということでした。(道で見かけた両足のない男性でさえも!) 彼らの笑顔を見ながら、自分が当然と知っていることや、人生の幸せのために必要と思っている事柄を助すかしく思いました。クリスチャンの私にとっては、神様との関係、そして人々との関係が重要です。私はタイの道端で出会った方々が、人間としての尊厳を持ちつつ生きたいと願っている様子を見て、人生の優先順序



を思い起こし謙遜な気持ちにさせられました。再び年内に6人の同僚と共にタイで開かれた教育関係の会議に出席することになり、4台の車椅子を持参し、寄贈することが出来ました。「希望の車いす」のスタッフが、手続きをして、航空会社から個人の荷物の枠外で車いすを飛行機に乗せる許可を得ることが出来ました。バンコクには、木曜日の夜に到着し、土曜日には、早速4台の車いすと、受け取った方々の写真をEメールで受け取りました。バンコクで車椅子を受け取ったスタッフは、数時間かけてミャンマーとタイの国境地帯まで車椅子を届けてくれたのです。写真に写っている方々のお顔を見た時、平安と喜びが胸にあふれました。この方々の生活には困難があるでしょう。でも、私たちに共通点があるのです。私たちは皆尊厳をもって人生を生きたいとねがう兄弟姉妹なのです。

アンマリー・スモーカー (ボランティア)

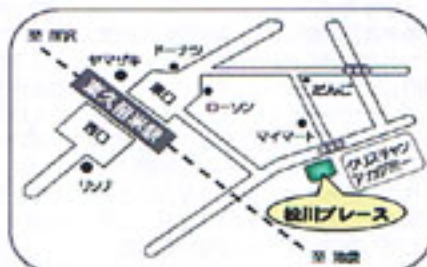
整備、クリーニング ティ!

日時: 7月4日(水) 10am~4pm

場所: 松川ブレース 1F

東久留米市 新川町1-2-12 1F 多目的ホール
(西武池袋線 東久留米駅から徒歩2分)

作業用の服をご準備の上、どうぞご参加ください!!



当日連絡先 0424-58-8106(事務所)
080-6689-8130(田原)

*** ご協力、ご寄付ありがとうございます ***

タイ航空様、フランスベッド様、Apostolos Corp.様、Cycle one自転車様、東大和キリスト教会様、久留米キリスト教会様、東京ローア バプテスト教会様、Japan Baptist Fellowship様、スタジオ クリエーション様、Asian Orphan Support Association様、(順不同)

*** 会計報告 2007年2/1~2007年3/31 ***

収入		支出	
団体寄付金	70,043	経費	576,401
個人寄付金	135,000	(コンテナ輸送費・倉庫代含む)	
企業寄付金	135,000		
集金寄付金	41,400		
個人会費	65,000		
団体会費	10,000		
計	456,443	計	576,401
前月繰越	996,762	次月繰越	876,804
合計	1,453,205	合計	1,453,205

収入		支出	
2月分	248,400	2月分	135,778
3月分	208,043	3月分	440,623
		(コンテナ輸送費・倉庫代含む)	
計	456,443	計	576,401
前月繰越	996,762	次月繰越	876,804
合計	1,453,205	合計	1,453,205

希望の車いす

「希望の車いす」の会

発起人: マリー・ペナー

事務局: 〒203-0013 東京都東久留米市新川町 1-2-12-106

Tel/Fax: 047-337-3861 又は 047-338-7101

Eメール: kbounokurumaisu@yahoo.co.jp

郵便番号: 001803-686314 希望の車いす